

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成25年度採択テーマ 中間評価結果

【堤防及び河川構造物(コンクリートまたは鋼構造物)の点検・診断の高度化技術研究開発】

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	堤防及び河川構造物の総合的な点検・診断技術の実用化に関する研究開発	(独)土木研究所 佐々木 哲也	b	堤防、河川構造物の破壊、劣化のデータ収集と整理が進んでいるが、研究成果が実際の現場での点検・診断の具体的方法の提案につながるように研究開発内容を絞り込むことに留意しながら、現行計画のとおり進捗することが妥当と評価する。
概要	堤防の安全性に影響与える河川構造物の変状形態を明らかにした上で、それらの変状に対する各種非破壊検査技術の適用性を検証する。			
テーマ	電気探査および統合型貫入試験による堤防断面土質モデルの構築に関する技術開発	京都大学 三村 衛	a	電磁探査手法は適用上の課題があるが、その他の研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	多点電磁気探査と統合型貫入試験を併用した河川堤防防災検討のための横断構造地盤モデルの効率的構築手法を開発する。			

河川砂防技術研究開発公募(水防災技術分野)平成25年度採択テーマ 中間評価結果

【洪水予測技術の研究開発】

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	粒子フィルタを用いた水位流量曲線および洪水追跡モデルの同定とリアルタイム水位予測	京都大学 立川 康人	a	水位予測の精度向上に寄与する研究成果となることが期待される。研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	粒子フィルタを用いた水位流量曲線および洪水追跡モデルの逐次同定手法、それらを用いリアルタイム水位予測手法を開発するとともに、CommonMPの実時間予測への応用を図る。			
テーマ	流域貯留量を考慮した洪水予測手法の汎用性向上の研究	室蘭工業大学 中津川 誠	a	流域貯留量の推定に関して検討の途上であるが、モデルの構築が進み、研究は着実に進捗している。現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	降雨と融雪に起因する土壌の潤湿状態を過年で評価することで汎用性の高い流出予測計算手法を開発する。			

評価の凡例

- a:非常に優れた研究であった。
- b:優れた研究であった。
- c:条件付きで評価できる(研究費の減額等)
- d:優れた研究ではなかった(研究の打ち切り)